

4回生 必修科目「論理・表現Ⅰ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅰ	単位数	2	単位
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。					
教科書	MAINSTREAM English Expression I Second Edition (増進堂)		副教材	総合英語 FACTBOOK これからの英文法 (桐原書店) 総合英語 FACTBOOK English Grammar [Standard]workbook (桐原書店)		

1 学習の目標

- (1) 英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える練習をする。
 (2) コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

【英語運用の4技能の目標】

聞くこと	○日常的な会話などの英語の短い話ややりとりを聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズにある程度配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。
話すこと	○授業で与えられたトピックについて、英語でプレゼンテーションしたり、やりとりしたりすることができる。
読むこと	○英語で書かれた内容について、要点や概要を理解することができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、自分の意見をまとめて書くことができる。

2 学習の方法

(1) 授業について

『Factbook Workbook』を使って英語をインプット→インテイク→アウトプットするとともに、学習内容を用いてまとまりのある文章を書く授業と、『MAINSTREAM』を使って、英会話やエッセイライティングなどのアウトプットを行う授業をバランスよく配置していきます。英語の学習の目標をアウトプットに置くことで、より実践的な英語能力を身につけていきます。

(2) 予習と復習について

習った事項を実際に使えるレベルまで高めるために、基本例文を音読・暗唱したり、学習した内容を用いて自分の意見や考えなどを表現したりしてください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。 【定期考査：文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題 等】
②思考・判断・表現	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。 【定期考査：英作文、語句整序、自由英作文 等】
③主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。 【定期考査：授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文 等】

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期考査	Drills	Dictation	Composition	Output	Other Activities	
①知識・技能		○				○	○	
②思考・判断・表現		○	○		○	○	○	
③主体的に学習に取り組む態度			○	○	○		○	

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の実や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→③④、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→①

月	単元	学習内容(★のみ記載)	評価の観点(★のみ記載)	考查等	資質・能力
4 5 6	Factbook Workbook 第1～6章 MAINSTREAM Lesson 5～7	文型や時制を中心に、動詞の形を学習する。 好きな音楽、自分の大切なもの、週末の予定や勉強している科目を紹介するスピーチや作文を行う。	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②動詞の時制等に注意を払いながら、紹介文などを話したり書いたりできる。 ④動詞や文構造、時制について、各種表現方法を理解し、使用することができる。	1学期 中間考查	ACF
7 8 9	Factbook Workbook 第6～14章 MAINSTREAM Lesson 8～10	助動詞・態・不定詞を中心に、より幅広い動詞表現を学ぶ。 クラブ活動、文化祭、道案内をしたり、店の紹介文や健康についての意見文を書く。	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②学んだ表現を用いて、道案内をしたり、紹介文などを話したり書いたりできる。 ④完了形、助動詞、不定詞などについて、各種表現方法を理解し、使用することができる。	1学期 期末考查	ADF
1 0 1 1 2	Factbook Workbook 第15～18章 MAINSTREAM Lesson 12、15 Lesson 11	動名詞・分詞について学び、より動詞表現の幅を広げる。 ボランティア活動、日本の食べもの、手紙など、より広い話題について、英語で表現する。	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②学んだ表現を用いて、社会的な視点を持ち、ボランティア活動や町の紹介、留学について書いたりできる。 ④準動詞の表現などについて、各種表現方法を理解し、使用することができる。	2学期 中間考查	ADF
1 2	Factbook Workbook 第18～23章 MAINSTREAM Lesson 13、14	比較表現・関係詞について学び、修飾関係に注意しながら英語で表現する。 食文化や環境問題、推薦図書など、より広い話題について、英語で表現する。	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②学んだ表現を用いて、食文化や環境問題、推薦図書などについて、英語で書いたり話し合ったりできる。 ④関係詞、比較表現などについて、各種表現方法を理解し、使用することができる。	2学期 期末考查	ABF
3	Factbook Workbook 第24～25章 MAINSTREAM Lesson 16	仮定法について学び、より広い表現を学ぶ。 英語でスキットをする。	①今までに学んだ表現を用いながら、グループで協力し合い、スキットを行う。		ABF